



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 日本化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4092 URL <https://www.nippon-chem.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 棚橋 洋太
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 熊田 雄司 TEL 03-3636-8038
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	18,672	△5.0	803	△19.1	909	△19.1	611	△16.9
2023年3月期第2四半期	19,653	1.3	992	△57.1	1,123	△51.6	735	△63.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 871百万円 (262.9%) 2023年3月期第2四半期 240百万円 (△89.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	69.33	—
2023年3月期第2四半期	83.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	75,152	42,823	57.0
2023年3月期	72,897	42,241	57.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 42,823百万円 2023年3月期 42,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	5.1	1,600	23.8	1,600	13.3	1,000	16.9	113.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	8,922,775株	2023年3月期	8,922,775株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	100,710株	2023年3月期	110,223株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	8,816,641株	2023年3月期2Q	8,806,374株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症における社会経済活動の制限が緩和され、緩やかに回復しつつあるものの、原燃料価格の高騰や円安の進行、さらにウクライナ情勢の長期化等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に掲げる成長戦略の推進と成果の実現に向け、「成長事業の拡大」、「グローバル化の推進」、「経営基盤の強化」という3つの重点施策に全社一丸となって取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、価格改定やコスト削減などの収益改善策を進めたほか、新製品の売上寄与もありましたが、液晶や半導体及び通信向け、一般工業向け等の主要取引先における販売数量が依然として低調に推移したことで、売上高、利益ともに減少しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は186億7千2百万円（前年同期比9億8千万円減）となり、営業利益は8億3百万円（同1億8千9百万円減）となり、経常利益は9億9百万円（同2億1千4百万円減）となりました。

この経常利益に、固定資産売却益1千1百万円の特別利益を加え、固定資産除却損1億1百万円の特別損失及び法人税等2億5千万円を差引き、更に法人税等調整額△4千2百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億1千1百万円（同1億2千3百万円減）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①化学品事業

化学品事業では、クロム製品はめっき向けが大幅に落ち込んだことにより、売上高は減少しました。シリカ製品は堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。燐製品は液晶や半導体、工業用向けが大幅に落ち込んだことにより、売上高は大きく減少しました。この結果、化学品事業の売上高は、84億8千7百万円（同20億2千9百万円減）となりました。

②機能品事業

機能品事業では、ホスフィン誘導体は量子ドット向けが大幅に落ち込んだものの、海外向け触媒が大幅に伸びたことにより、売上高は大きく増加しました。農薬は主要顧客向けが大幅に伸びたことにより、売上高は大きく増加しました。電池材料は原燃料高を起因とする販売価格の改定により、売上高は大きく増加しました。電子セラミック材料は通信向けが大幅に落ち込んだものの、車載向けが好調に推移したことにより、売上高は増加しました。回路材料は接着剤向けが大幅に伸びたことにより、売上高は大きく増加しました。高純度電子材料は、半導体向けが大幅に落ち込んだことにより、売上高は大きく減少しました。この結果、機能品事業の売上高は、93億6千5百万円（同10億8千7百万円増）となりました。

③賃貸事業

賃貸事業は、堅調に推移したことにより、売上高は前年同期並みとなりました。この結果、賃貸事業の売上高は、4億5千7百万円（同0百万円増）となりました。

④その他

書店事業は、低調に推移したことにより、売上高は大きく減少しました。この結果、報告セグメントに含まれない事業セグメントの売上高は、3億6千1百万円（同3千9百万円減）となりました。

当第2四半期連結累計期間の営業成績は以上のとおりですが、当社グループは、成長戦略の推進と成果の実現に向け、引き続き重点施策（「成長事業の拡大」、「グローバル化の推進」、「経営基盤の強化」）に取り組み、収益力の強化を進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ22億5千4百万円増加し、純資産は5億8千1百万円増加しております。その結果、自己資本比率は57.9%から57.0%となっております。

増減の主なものは次の通りであります。

流動資産では、現金及び預金が7億8千8百万円増加し、売掛金が11億7千5百万円増加し、商品及び製品が3億1千7百万円増加し、原材料及び貯蔵品が5億1千5百万円減少しております。

固定資産では、有形固定資産が2億3千3百万円減少し、無形固定資産が4千4百万円増加し、投資有価証券が4億3千1百万円増加しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が5億3千2百万円増加し、短期借入金が31億4千3百万円増加し、未払法人税等が2億5千6百万円増加し、設備関係未払金が3億4千5百万円増加しております。

固定負債では、長期借入金が23億6千万円減少し、退職給付に係る負債が8千7百万円増加しております。

株主資本では、利益剰余金が2億9千4百万円増加しております。

その他の包括利益累計額では、その他有価証券評価差額金が2億6千9百万円増加しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、22億7千8百万円の収入（前年同期は3千1百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益8億1千9百万円に対し、減価償却費18億1千7百万円の他、退職給付に係る負債の増加額8千7百万円、売上債権の増加額13億1千4百万円、仕入債務の増加額6億7千8百万円、未払消費税等の増加額2億4千8百万円等、営業取引に係る資産負債の増減額を加減したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に設備投資による支出があり、20億4百万円の支出（前年同期は13億2百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払等がありましたが、借入れによる収入により、4億7千1百万円の収入（前年同期は17億8千3百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7億8千8百万円増加し、86億2千万円となりました。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローと配当金を減算したフリーキャッシュ・フローは、3千4百万円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,841	8,630
受取手形	945	1,097
売掛金	9,844	11,019
商品及び製品	5,087	5,404
仕掛品	3,597	3,753
原材料及び貯蔵品	4,231	3,715
未収消費税等	101	—
その他	592	597
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	32,228	34,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,212	38,093
減価償却累計額	△24,086	△24,526
建物及び構築物(純額)	13,125	13,567
機械装置及び運搬具	19,963	20,510
減価償却累計額	△10,811	△11,822
機械装置及び運搬具(純額)	9,152	8,688
土地	7,466	7,459
建設仮勘定	2,122	1,882
その他	6,524	6,713
減価償却累計額	△5,639	△5,793
その他(純額)	884	920
有形固定資産合計	32,751	32,518
無形固定資産		
その他	411	456
無形固定資産合計	411	456
投資その他の資産		
投資有価証券	6,292	6,724
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	102	99
退職給付に係る資産	848	894
その他	284	277
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	7,506	7,973
固定資産合計	40,669	40,947
資産合計	72,897	75,152

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,618	4,150
短期借入金	7,487	10,631
未払法人税等	29	285
未払消費税等	12	159
賞与引当金	400	399
設備関係未払金	2,957	3,302
その他	2,987	2,479
流動負債合計	17,492	21,409
固定負債		
長期借入金	9,289	6,928
繰延税金負債	1,041	1,091
退職給付に係る負債	769	856
その他	2,063	2,043
固定負債合計	13,163	10,919
負債合計	30,656	32,328
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,757	5,757
資本剰余金	2,267	2,267
利益剰余金	30,910	31,204
自己株式	△307	△280
株主資本合計	38,627	38,948
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,970	3,240
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	78	120
退職給付に係る調整累計額	565	514
その他の包括利益累計額合計	3,614	3,875
純資産合計	42,241	42,823
負債純資産合計	72,897	75,152

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	19,653	18,672
売上原価	16,133	15,390
売上総利益	3,519	3,282
販売費及び一般管理費	2,526	2,478
営業利益	992	803
営業外収益		
受取利息及び配当金	79	79
持分法による投資利益	33	38
その他	123	90
営業外収益合計	236	208
営業外費用		
支払利息	41	49
休止固定資産減価償却費	15	24
その他	48	27
営業外費用合計	105	102
経常利益	1,123	909
特別利益		
固定資産売却益	—	11
投資有価証券売却益	22	—
特別利益合計	22	11
特別損失		
固定資産除却損	63	101
特別損失合計	63	101
税金等調整前四半期純利益	1,082	819
法人税、住民税及び事業税	57	250
法人税等調整額	289	△42
法人税等合計	346	207
四半期純利益	735	611
親会社株主に帰属する四半期純利益	735	611

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	735	611
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△507	269
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	68	42
退職給付に係る調整額	△55	△51
その他の包括利益合計	△494	260
四半期包括利益	240	871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240	871

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,082	819
減価償却費	1,595	1,817
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△477	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△52	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5	87
受取利息及び受取配当金	△79	△79
持分法による投資損益 (△は益)	△33	△38
支払利息	41	49
為替差損益 (△は益)	△13	△9
投資有価証券売却損益 (△は益)	△22	—
固定資産除却損	63	101
売上債権の増減額 (△は増加)	△598	△1,314
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,960	49
仕入債務の増減額 (△は減少)	221	678
未払消費税等の増減額 (△は減少)	191	248
その他	260	△155
小計	213	2,254
利息及び配当金の受取額	79	79
利息の支払額	△41	△50
法人税等の支払額	△283	△59
法人税等の還付額	—	54
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31	2,278
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,314	△1,202
有形固定資産の除却による支出	△53	△704
有形固定資産の売却による収入	1	27
無形固定資産の取得による支出	△27	△111
投資有価証券の取得による支出	△2	△4
投資有価証券の売却による収入	46	—
貸付けによる支出	△0	△0
貸付金の回収による収入	52	0
その他	△5	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,302	△2,004
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,341	△1,216
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2	△3
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△438	△307
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,783	471
現金及び現金同等物に係る換算差額	58	43
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,058	788
現金及び現金同等物の期首残高	9,002	7,831
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,943	8,620

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,517	8,278	457	19,252	400	19,653	—	19,653
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	114	10	125	136	261	△261	—
計	10,517	8,392	468	19,377	537	19,914	△261	19,653
セグメント利益又は 損失(△)	781	△74	268	975	26	1,002	△9	992

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△9百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化学品事業	機能品事業	賃貸事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,487	9,365	457	18,311	361	18,672	—	18,672
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	34	10	45	147	193	△193	—
計	8,487	9,400	468	18,356	509	18,865	△193	18,672
セグメント利益	307	233	266	807	0	808	△5	803

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、書店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。